

## 2-(4) 古典資料の保存と利用

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授

綿抜 豊昭

### 【はじめに】

今回の講義における「古典」とは、日本において、明治時代までに、書写もしくは刊行された古典籍の意味で使用する。

#### I 大学図書館の古典資料

- ①すでに所蔵されているもの
- ②教官が研究のため購入したもの
- ③寄贈されたもの

#### II 保存以前の問題

整理済み（利用者が閲覧可能な状態）のではないもの→整理が必要

標準的整理

原状確認→カード取り→目録作成→ラベル貼等→撮影（→保存・保管→公開）

整理のための道具

筆記用具、メジャー、ルーペ、カード、参考図書、文鎮、布（紙）、カメラ

#### III 保存

- ①黴や虫から守る

薬剤

目通し

- ②利用者から守る

閲覧の仕方

#### IV 利用と有料・無料の問題

- ①閲覧

- ②展示（貸し出し）

- ③インターネット

ホームページ～京都府立図書館、東京大学史料編纂所、国立の各博物館

目録や画像を提供

- ④研究論文、研究書における使用

#### V 商品化の問題

- ①オリジナル目録の作成（紙、デジタル）

- ②翻刻、複製、注釈書等の作成

- ③グッズ（絵はがき、シール等）の作成